

きららシニア山口

vol.116

令和5年2月28日発行

新年のごあいさつ 山口県知事 村岡 嗣政



明けましておめでとうございます。老人クラブの皆様方には、すがすがしい新春をお迎えになられたこととお慶びを申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして、より良い年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

また、平素から、皆様方には、地域福祉の充実や地域の活性化に御尽力を賜りますとともに、県政の各般にわたり、格別の御理解と御支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスとの闘いは、3年の時を経て、その様相を変えつつあり、社会経済活動は、正常化に向かって進んでいます。

私は、この一年を、長引くコロナ禍を乗り越え、県民の皆様と共に、新たな未来を切り拓いていく、そのスタートの年にしていきたいと考えています。

このため、県では、昨年末に策定した新たな総合計画「やまぐち未来維新プラン」に基づき、デジタル化や脱炭素化などの社会変革にしっかりと対応するとともに、これまで挑戦してきた産業維新・大交流維新・生活維新の「3つの維新」をさらに進化させ、「安心で希望と活力に満ちた山口県」の実現に全力で取り組んでまいります。

老人クラブの皆様方におかれましては、地域での支え合い活動やボランティア活動、コミュニティ・スクールへの参画等を通じて、地域貢献活動や世代間交流などに積極的に取り組まれているところであり、引き続き、これまで培ってこられた豊かな知識や様々な経験、技能等を幅広い分野で活かし、地域を支える担い手として、一層御活躍されますよう、お願い申し上げます。

結びに、山口県老人クラブ連合会並びに各市町老人クラブ連合会の益々の御発展と会員の皆様方の御健康、御多幸を心より祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

目次 ~INDEX~

市町老連の連携強化 市町老連巡回訪問を実施	1.2
地域支援担い手育成加速化事業	
県下合同マッチング会議	3
活動推進リーダーフォローアップ研修	4
地域で活躍！シニア社会貢献活動推進事業	
大歳地区老人クラス連合会(山口市)	5
田布施町老人クラス連合会(田布施町)	5
総合支援学校と進める世代間交流研修会	6
若手委員会活動報告	
仲間づくりに向けた情報交換会	7
中国・四国スロック老人クラスリーダー研修会実行委員会(第2回)	7
女性委員会活動報告	
令和4年度 健康づくり・介護予防セミナーに参加して	8

全国老人クラス大会	9
表彰受賞者	10
令和4年度 全国老人クラス連合会活動賞	11.12
令和4年度 市町老連運営研究協議会	13
令和4年「秋の全国交通安全運動」活動報告	14
令和4年度「社会奉仕の日」活動報告	15.16
令和4年度 高齢者の健康づくり・生活支援セミナーに参加して	17
第34回全国健康福祉祭(ねんりんピックかながわ2022)	18
きらら文芸箱 / 編集後記	19.20
「憩いの家」指定施設のご案内	21
傷害保険・賠償責任保険 / 老人クラス会員章のご案内	22
老人クラス入会のご案内	23

市町老連の連携強化

市町老連巡回訪問を実施しました

県老連の事業展開への活用や、市町老連と県老連との連携強化を図るため、県老人クラブ連合会の会長・副会長が各市町老人クラブ連合会を訪問し、それぞれの活動や会員の状況等についてヒアリングを行い、老人クラブ組織の発展に向けた諸課題を把握し、情報交換を行う「巡回訪問」を令和3年度から開始し、全ての市町老連への訪問を完了しました。



活発な意見交換が行われました

県老連へ直接声を届けることのできる機会であったことから、市町老連側の出席者は会長・副会長・理事等の役員その他、事務局長や支部長、女性委員・若手委員など顔ぶれは様々です。



会議は県老連が各市町老連に対して実施している「市町老連活動実態調査」の結果を踏まえ、近年の会員数・単位クラブ数の増減推移を共有するところから始まります。

続いて、組織体制、財源、後継者育成、若手委員会の設置状況等の市町老連運営や事業展開に関する課題を踏まえ、事業実施上の課題、現在活発に活動している単位老人クラブ、行政との関係といった、地域に特化した話題について出席者が自由に発言します。

情報交換の中では、老人クラブの運営や活動だけでなく、地域の情勢などについても話題が自然と移ります。特に中山間地域では、老人クラブだけでなく、関係団体も運営の担い手確保を求めているため、人材の取り合いが起きている。」といった苦しい実情を訴える方もいらっしゃいました。

県老連の運営や会議や研修等の事業に関しては「各単位老人クラブのリーダーや、補助金申請手続きができる会計係の後継者の確保に困っている。担い手の育成に取り組んでほしい。」「県央部で開催される研修や会議に参加することができない者にとって巡回訪問は非常に有意義。今後も継続してほしい。」等、参考にするべきご意見ばかりでした。

最後に、「運転免許を返納して外出する手段を失った。買い物などの日常生活や老人クラブ活動に参加す



会議終了後は一時的にマスクを外して記念撮影をしました

るための移動手段確保について、要望活動を展開してほしい。」などの意見については、「早速各種要望活動に反映させたい。」と平田会長が応えました。

令和3年度から2年にわ

たる巡回訪問で各市町老連から集約したご意見・情報は、市町老人クラブ連合会代表者連絡会議等にて共有する予定です。



関係機関・団体と進める！

県下合同マッチング会議

令和4年8月3日(水) KDDI 維新ホール(山口市)会議室201

「介護予防」や「生活支援」、一見すると大仰なように感じますが、どんなことをすればいいのでしょうか？

身近な地域の住民や関係者が集い、日常生活のちょっとした困りごとを話し合う場の設置が市町を中心に進められており、皆さんのお住まいの市町にも、「支え合い会議」や「協議体」といった様々な名称で組織化されています。

山口県老人クラブ連合会では、県内各地において「地域での支え合いを話し合う場（協議体）」と「その地域の老人クラブ」の顔合わせ（マッチング会議）を行っています。本会議は、昨年度実施したマッチング会議の事例を、県



県内各地からマッチング会議に関心を寄せる方が集まりました！



講師の長谷亮佑氏

いただきました。

講師より、老人クラブで取り組んでいる見守り訪問や清掃活動、サロン、グラウンド、ゴルフ等の活動は、まさに地域で求められている介護予防

全体で共有することを目的に開催しました。最初に、山口大学大学院医学系研究科の講師であり、県老連の理事でもある長谷亮佑氏を講師にお招きし、老人クラブとしてどのように取り組んでいくべきか指導をいた

であり、生活支援であること。そして、活動場所や参加対象者等を少し工夫すると、それはもう立派な「介護予防・日常生活支援総合事業」になるということでした。

つまり、今から特別なことを新たに始めるという訳ではありません。今こそが、老人クラブで活動してきたことを活かして、地域の中でその存在意義を示すチャンスではないでしょうか？

講義の後は、昨年度にマッチング会議を行った阿武町より、阿武町老人クラブ連合会会長の長嶺世史氏と阿武町社会福祉協議会の西村俊洋氏からお話を伺いました。

阿武町のマッチング会議では、住民の方にとって最も関心が高い地域課題の1つである「移動手段の確保」について大きく取り上げられ、新たに移動サービスを立ち上げました。これをきっかけに町内の他の地域でも移動の問題に



左：西村俊洋氏 右：長嶺世史氏

取り組むための座談会を開催する動きに繋がったようです。

来年度も、地域を指定して実施するマッチング会議や、そのマッチング会議の様子を報告する県下合同マッチング会議を開催する予定です。

「是非、私たちの地域でマッチング会議をやってみたい！」という市町老人クラブ連合会の方がいらっしやいましたら、県老連事務局まで連絡をください。

活動推進リーダーフォローアップ研修

令和4年12月6日(火) 下松中央公民館(ほしらんどくだまつ) 2階サルビアホール
 令和4年12月7日(水) 山陽小野田市民館 2階第1・2会議室

私たちの暮らす地域では、日頃のお付き合いの中で、多くの支え合い活動が行われています。本研修会は、支え合い活動に老人クラブが関わることの意義や手法、実践事例を学び、地域の関係者と各自の取組について情報交換をするために開催しました。

午前は、「ご近所福祉クリエイション・ご近所福祉クリエイター」の酒井保氏より講義をいただきました。漫談的な



講師の酒井保氏



講師の石井儀光氏

酒井氏は、趣味活動や誰かと一緒に会話をしながらご飯を食べること等、老人クラブの活動そのものが、健康寿命を延ばすことだと語ります。大切なキーワードは、「社会性」+「役割」、つまり「社会参加」を促すことです。例えば、老人クラブが普段から行っているサロン活動は、ま

お話はユーモアたっぷり、参加者からは「楽しかった」「分かりやすかった」と大好評でした。昨今では、新型コロナウィルスがまん延したことと外出の自粛が叫ばれましたが、外出をせず人と会わないと、社会との繋がりが低下し行動範囲が狭くなります。そのため、精神状態が落ち込み、更には口腔機能や栄養状態が悪くなり、運動機能や認知機能が低下するという、まるでドミノ倒しのような恐ろしい状況が、「社会性の低下」をきっかけに引き起こされているようです。

さし高齢者の「社会性」を支援していることになりました。「ちよつとお茶を運ぶのを手伝って」と、何かの役割を持つてもらおうこと。そして「助かったよ、ありがとう」と声掛けをすること。これが、本人の「できる」を維持することに繋がります。人と人が繋がりが合う活動が、体や心が虚弱になるリスクを下げます。これらの効果を自覚して行うことが大事なことでした。

午後からは、国土技術政策総合研究所都市研究部都市開

発研究室室長の石井儀光氏より、講義と演習をしていたいただきました。

元氣な高齢者が地域を支える例が各地に広がっています。大きな課題となっています。定年退職後の男性の方など、地域との繋がりが少なく、参加したくてもきっかけがなかったり、どこで参加すればいいか分からなかったりする方も多いため、そうした方が地域活動に参加しやすくなるような取組の工夫をすこく形式で学びました。

グループワークでは、全国的な事例が講師から紹介されると、それに刺激されて色々な質問やアイデアが飛び交っていました。

午前・午後の研修内容のどちらにも、地域の支え合いだけでなく老人クラブの会員増強にも使える学びも多く、大変実りある研修となりました。

地域で活躍！シニア社会貢献活動推進事業



本県では、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりでの教育を実現するために、「やまぐち型地域連携教育」の核となる「コミュニティ・スクール（以下「コミスク」）を推進し、子どもたちの豊かな成長につなげていくための取組が行われています。

全国に先駆けて県内全ての公立小・中学校、高等学校、総合支援学校に「コミスク」が設置されており、老人クラブと連携した取り組みも積極的に行われ、子どもたちにとっての多様な学びの場づくりや地域における老人クラブの存在感を高めることにつながっています。

●実践モデルクラブの活動紹介

高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり、機会づくりを広げ、地域における社会貢献活動や世代間交流の取組をより一層推進するために、市町老連を実践モデルクラブに指定し、単位クラブ、地区・支部老連が行う実践活動を推進しています。

詳しい内容については、活動終了後に作成する活動事例集にて紹介させていただく予定ですが、活動の一部を紹介します。

山口市 大歳地区老人クラブ連合会

【連携する学校】山口県立 山口総合支援学校

「今日わくわくしましたか〜?」「はい」お世話役である老人クラブ会員の呼びかけに、生徒の元気な声が返ってきます。

カローリングを一緒に楽しむなど、生徒と老人クラブ会員の定期的な交流の場づくりに取り組んでいます。



田布施町 田布施町老人クラブ連合会

【連携する学校】山口県立 田布施農工高等学校

スマホを所持しているものの、使い方はよく分からないし、教えてくれる人もいない。そうした会員の声から、田布施農工高等学校の協力を得て「スマホ教室」を開催しました。生徒が指導者補助役として加わり、基本操作のお手伝いをいただくことで交流を深めるきっかけとなっています。



総合支援学校と進める世代間交流研修会

「子ども達と関わるために必要なことを学ぼう」を開催しました

総合支援学校のコミスクにおいて老人クラブに期待されていることや、障がいのある子ども達との世代間交流を促進するために必要な知識や合理的配慮を学び、本県における総合支援学校と老人クラブとの連携拡大及び促進を図ることを目的に研修会を企画しました。

当初集合しての開催を予定していましたが、開催直前に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、参集することを懸念する声が高まったことから、インターネット上で講義の動画を配信する方法に変更させていただきました。



◆講義1

「総合支援学校ってどんなところ？」地域住民の方には知っていただきたいこと」

講師：深井健一氏

（山口県教育庁特別支援教育推進室 指導主事）

総合支援学校の基礎的知識、総合支援学校におけるコミスクの取組状況、公立小・中学校のコミスクとの

共通点、老人クラブへの期待等、これからコミスクに取り組む方に必須の知識をご説明いただきました。

*



◆講義2

「障害のある子どもの理解とかわりについて」

講師：藤田久美氏

（山口県立大学社会福祉学部 学部長・教授）

障がいについての基礎的知識と合理的配慮について、具体的なケースや動画を示しながら大変分かりやすくご説明いただきました。講義の中では地域における老人クラブの重要性についても触れられ、教育分野からも老人クラブが期待されていることも指摘されました。

配信期間であればいつでも自由な時間に視聴できるようにしました。このことから「参加を迷っていた者も含めて市老連に集まり、一緒に視聴しました。」「新型コロナウイルスの影響が怖かったので助かりました。」等の感想をいただきました。老人クラブと学校関係のみのご案内とさせていただきますましたが、閲覧数は参加予定者数の2倍以上あり、パソコンやスマートフォンを活用される方が増えたこともうかがえます。

仲間づくりに向けた情報交換会

令和4年9月26日(月) KDD I 維新ホール(山口市) 会議室201

「仲間づくり」や「会員増強」は永遠のテーマであり、県老連としても各市町老連の協力をいたいただきながら取り組んでいるところです。

全国老人クラブ連合会では、平成26年度から5か年計画で全国運動として「100万人会員増強運動」を実施したところですが、残念ながら全国的にも山口県でも会員数は減少し続けています。

こうした中、県老連では、令和元年度より若手委員会を立ち上げ、若手の新たな風を取り入れて会員増強に向けて積極的に取り組もうとしているところです。

本情報交換会は、会員増強のための参考となる取組事例を共有し、各地域での会員増強の取組に役立てることを目的として、令和4年度の新規重点事業として開催しました。

最初に、2つの単位老人クラブより、休会からの復活や、新規クラブ立ち上げの事例について発表をいただきました。

◎事例発表

「クラブが復活した事例」

発表者：管内団地寿会(山口市)

会長 澄川 文二郎氏

管内団地では、平成15年より老

人クラブを休会していましたが、地域から復活の要望があったため、自治会長に掛け合い、協議を重ねた結果、自治会の一部に老人クラブを位置づける形で令和3年2月に復活されました。自治会と連携しながら、いかに会員が参加してくれるか、興味をもってもらえるかを第一に考え、親睦活動、健康増進活動、奉仕活動等、様々な活動を行っていることを発表いただきました。

◎事例発表

「クラブが新設された事例」

発表者：戸田地区寿会(周南市)

会長 前田 則之氏

戸田地区寿会は、元々単位クラブとして組織はあったものの、市老連に加入していなかったため、令和3年度に加入されました。加入にあたり、会員がク

ラブを脱会される理由や、会員が増えない理由を分析された結果、友人・知人の戸別訪問が有効と分かり、1年間に27人も会員増に成功されました。入会を断られる理由で多いのは「一年寄りの会に入

るのはまだ早い」「そのうちお世話になる」「だそうですが、「お世話になる頃に入るのでは遅い」ということを具体的・論理的に説明されており、その対応方法は非常に参考になりました。

事例発表の後は、参加者同士でお互いの地区の仲間づくりの取組や、これからやってみたいことについて活発な情報交換が行われました。コロナ禍でどのように行事を進めていけばいいのが悩んでおられる方が多く、参加者からは「一人一人の声掛けが大切だと思いました」「色々な愚痴も聞けてすっきりしました」という声が寄せられました。

県老連では引き続き、気軽に悩みや情報交換ができる場を設けていきたいと考えています。



事例発表後と助言の様子



中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会実行委員会(第2回)

令和4年10月17日(月) 山口県社会福祉会館(山口市) 2階第4会議室

本研修会は、毎年7月に中国・四国ブロックの各県・指定都市老連にて持ち回りで開催しています。コロナ禍で他県開催の中止が続きましたが、令和5年度は、4年ぶりに山口県引き受けで開催することとなりました。

日頃の活動成果や課題を持ち寄って、討議や交流をしながら、リーダーとしての資質を向上させることを目的とした本会議の引き受けにあたり、実行委員会で鋭意企画中です！

第2回の実行委員会では、研修会の参加人数や交流会のアトラクシ



ョン、事例発表・討議のテーマについて協議しました。山口県らしさあふれる素晴らしいリーダー研修会になるよう、引き続き協議を進めてまいります。研修会のご案内は3月中旬頃を予定しておりますので、多くの皆様の御参加をお待ちしております！

令和4年10月24日(月) KDD | 維新ホール(山口市) 会議室204



12人の女性委員が集まり、「令和4年度健康づくり・介護予防セミナーについて」当日の役割を決めました。続いて、「令和5年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会の記念品について」協議を行いました。記念品は、業者発注することに決定しました。最後に「令和5年度の事業計画について」協議を行い、来年度も健康づくり・介護予防セミナーを開催することに決定しました。

3グループに分かれて協議を行い、女性委員の積極的な発言が飛び交い、とても有意義な会議となりました。

令和4年度 健康づくり・介護予防セミナーに参加して

令和4年11月29日(火)

維新大晃アリーナ 参加者50人

女性委員長 守田 節子

株式会社ヤクルト山陽より「健康寿命を延ばそう！〜健腸長寿の方法〜」と題して、健康に過ごす為に健康診断を上手に役立てて、元気で：お世話にならずに自分で活動出来るように頑張る。それには食事の栄養バランス、体を動かす、休養の三原則を、そして腸内環境を良い状態に保ち、規則正しい生活を、とお話されました。

中村美香先生より講義と実践「ようこそ!! 「女性の為の体幹レッスン」と題して、骨盤底筋のトレーニングをしていただきました。女性にとって、一番気になる部位を解りやすく丁寧な御指導に、もう少し時間があったら：と思いました。無理をしないでトレーニングしていけば出来ると思うので、頑張りました。



講師：ヤクルト山陽



講師：JCCAひめトレアドバイザー
女性整体メイシャン代表 中村美香氏



いきいきクラブ体操



写真提供：全国老人クラブ連合会



写真提供：全国老人クラブ連合会



(左から) 新生会吉屋会長、吉屋啓子様、湯野寿会弘中副会長、県老連平田会長、シニアクラブ下松六反会長

令和4年11月8日(火)、全国老人クラブ連合会創立60周年記念全国老人クラブ大会が東京の両国国技館で開催されました。
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、集合型での開催は3年ぶりでした。会場は、久しぶりに集った喜びに満ち溢れていました。山口県からは受章者3人の方を含む5人の方が参加されました。参加者(受章者)3人のコメントは以下のとおりです。

全国老人クラブ連合会創立60周年記念 全国老人クラブ大会が開催されました

◆厚生労働大臣表彰 育成功労者
シニアクラブ下松
会長 六反 弘道

昭和38年に老人福祉法が施行され、当該老人クラブが初めて世論に対して位置づけをされました。

この様な中、60周年という記念すべき年に、しかも天皇后陛下の御前にて、受賞いただいたことは誠に意義深くこれ以上名誉なことはありません。今後も、健康には十分留意して、生涯現役をモットーにして、我が同志とともに邁進したいと思えます。

◆厚生労働大臣表彰 優良クラブ
湯野寿会
副会長 弘中 多恵子

今回、湯野寿会が厚生労働大臣表彰の栄誉を賜り、厚く御礼申し上げます。
令和4年11月8日(火)、東京都・両国国技館で表彰式が開催され、当日は天皇后陛下ご臨席の下、厳かに式典

が挙行されました。天皇陛下のお言葉を賜り、私は、感激、感無量の気持ちで一杯でございました。奇しくも当日は、442年ぶりの皆既月食の日でした。皆様のご協力、ご支援有り難う御座いました。

◆全老連会長表彰 優良クラブ
新生会
会長 吉屋 卓志

このたび我が秋市老人クラブ所属新生会は2年連続全国老人クラブ連合会の表彰状を頂きました。

天皇、皇后陛下の御前の席上天皇陛下より老人クラブへの期待が述べられました。これを励みに今後も単位クラブは、もとより秋市老連及び山口県老人クラブ連合会に貢献できる活動を続けたいと思えます。

令和5年度 第52回全国老人クラブ大会は秋田県秋田市での開催です。
(令和5年11月8日(火)、9日(木))

受賞おめでとうございます

老人クラブ育成成功労者等
厚生労働大臣表彰

● 老人クラブ育成成功労者

- ・ 守田 節子 (山陽小野田市)
- ・ 六反 弘道 (下松市)

● 優良老人クラブ

- ・ 湯野寿会 (周南市)

● 優良市区町村

老人クラブ連合会

- ・ 山口市老人クラブ連合会(山口市)

令和4年度
全国老人クラブ連合会会長表彰

● 育成功労表彰

- ・ 西元 勇 (萩市)
- ・ 岡本 利行 (防府市)

● 優良老人クラブ表彰

- ・ 新生会 (萩市)

● 優良郡市区町村

老人クラブ連合会表彰

- ・ 阿武町老人クラブ連合会(阿武町)

令和4年度
活動賞

● 東波波寿会連合会 (宇部市)

- ・ 山口市老人クラブ連合会
- ・ 小郡支部 (山口市)
- ・ 東陽クラブ (下松市)
- ・ 鶴寿会 (周南市)

令和4年度

山口県健康福祉功労者知事表彰

● 社会福祉事業団体関係者

- ・ 西元 勇 (萩市)
- ・ 石原 克宏 (山陽小野田市)

令和4年度

山口県老人クラブ連合会表彰

● 特別功労者

- ・ 尾畑 武夫 (下関市)
- ・ 白上 憲治 (阿武町)

● 一般功労者

- ・ 竹村 潔 (下関市)
- ・ 井上鋭太郎 (山口市)
- ・ 岩田八重子 (山口市)

- ・ 上野 新次 (山口市)
- ・ 大下 俊子 (山口市)
- ・ 久保 實 (山口市)
- ・ 竹重 禎子 (山口市)
- ・ 武田 宏子 (山口市)
- ・ 田中 康夫 (山口市)
- ・ 藤井 朝子 (山口市)
- ・ 藤村 貢 (山口市)
- ・ 伊藤 徹 (萩市)
- ・ 坂本 基 (萩市)
- ・ 樋口 昭二 (萩市)
- ・ 中田 敦人 (防府市)
- ・ 伊勢崎寿一 (下松市)
- ・ 下村 清一 (下松市)
- ・ 佐野 令子 (長門市)
- ・ 守川 邦昭 (柳井市)
- ・ 若木 肇 (柳井市)
- ・ 阿部 正實 (美祿市)
- ・ 内田 昭郎 (周南市)
- ・ 戸倉八重子 (周南市)
- ・ 福田 護 (周南市)
- ・ 縄田 國和 (山陽小野田市)
- ・ 光岡百紀枝 (山陽小野田市)
- ・ 矢原登喜吉 (山陽小野田市)
- ・ 小川 英樹 (周防大島町)
- ・ 末谷 龍司 (周防大島町)
- ・ 杉原 信夫 (周防大島町)

● 会員増強運動

- ・ 竹村 清登 (周防大島町)
- ・ 鶴田 聡子 (周防大島町)
- ・ 濱田 俊夫 (周防大島町)
- ・ 丸子 節男 (周防大島町)
- ・ 横井 醇子 (周防大島町)
- ・ 馬関老人クラブ (下関市)
- ・ 戸田地区寿会 (周南市)
- ・ 友愛の会 (周南市)

(敬称略)



令和4年度 全国老人クラブ連合会活動賞



今年度、全国老人クラブ連合会より山口県内の4クラブに活動賞が贈られました。受賞されたクラブの活動や取り組みについてお聞きしました。

ボランティア活動部門

東岐波寿会連合会 (宇部市)

結成年…平成4年4月 会員数…252人

Q どのような取組をしていますか？

A 宇部市視覚障がい者との交流や、婦人部と歩行訓練のお手伝いを年2回、宇部ボランティア協会と一緒に市内の彫刻清掃活動を年2回、街頭美化清掃活動を年1回実施しています。また、特別養護老人ホームにおける入浴後のヘアドライや移動介助、買い物時の外出サポートを月3回、敬老会での余興を随時行っています。

Q 取組の成果は？

A 宇部市社協や、ボランティア連絡協議会と連携を取ることができています。長年ボランティア活動をやってきて、



令和3年に厚生労働大臣から感謝状を受け、老人ホームや、視覚障がい者の方から大変喜ばれました。

ボランティア活動部門

東陽クラブ (下松市)

結成年…平成元年9月 会員数…82人

活動だけでなく、同地区内の小・中学校とふれあい親睦を図るため、行事に参加しています。

Q 取組の成果は？

A スローガン「お一人・一趣味・一貢献」を掲げ、会員一同協力して行っています。地区内に位置する公園の清掃活動を定期的に行うことで、地域の人から喜ばれています。また、学校との関わりがあることで、PIAなどと交流を図ることができています。

Q どのような取組をしていますか？

A 東陽地区にある「滝の口公園」の清掃活動を続けて33年になります。毎回30人程度が参加しています。清掃





活動賞とは…

活動賞は、活動の内容や取組における創意工夫が評価でき、他のクラブや連合会の模範となるクラブや連合会に対して贈呈している賞です。活動内容には、「仲間づくり活動」「健康づくり活動」「ボランティア活動」「その他の活動」があります。



仲間づくり活動部門

山口市老人クラブ連合会

小郡支部（山口市）

結成年…昭和34年4月 会員数…1361人

Q どのような取組をしていますか？

A 仲間づくり（会員増強）は、老連において最重要課題と考えています。総務部会、福祉奉仕部会、若手委員会を中心に取組み、各単位クラブの若手委員の会議を

4〜5回、37地区に年齢別人口調査を行い、60代、70代、80代、90代において、各地区に何人入会しているか分析検証を行っています。

特に40代、50代の準会員（会費免除）を募集し、次世代に継ぐ方策を実施しています。

Q 取組の成果は？

A 市、市社協、包括支援センターと関わりを密にして協議体を作り、通いの場、支え合いづくりなど、地区で組織を作るため協議体を作成中です。デジタル社会において、パソコン教室に参加する若手も多くなり、クラブの活性化に繋がっています。また、地域支え合いの仕組づくりを実施しています。

健康づくり活動部門

鶴寿会（周南市）

結成年…昭和60年4月 会員数…29人



Q どのような取組をしていますか？

A クラブ名にあるように、鶴の飛来地に近いところにクラブがあり、毎年鶴のねぐら整地に数人が参加しています。また、団地内の公園で、週1回早朝7時からグ

ラウンドゴルフを行ったり、餅つきや、バーベキューなど、地域支え合い活動も盛んに行っています。

Q 取組の成果は？

A クラブとしての結束力が固く、近隣クラブとの関わりを持つようにしています。この様に頻繁に行われるラウンドゴルフ会が、あまりないので、近隣のクラブからの参加者が多いですが、快く受け入れ、皆で楽しくプレーしています。グラウンドゴルフの話題で、会員同士の交流が広がっています。



令和4年度

市町老連運営研究協議会

令和4年9月7日(水)

山口県社会福祉会館(山口市)

山口県老人クラブ連合会では、年に2回、全ての市町老連の会長、女性委員、若手委員(会員)、事務局長(事務局員)が一堂に会して協議をする場を設けています。



本協議会は毎年9月に実施しており、11月に控える「第72回山口県総合社会福祉大会」の部会を兼ね、老人クラブ活動に係る諸課題を共有するとともに、仲間を増やしていくための、時代に即した老人クラブ活動の在り方について研究協議を行うことを目的として開催しました。

前半は、「老人クラブ育成功労者等厚生労働大臣表彰」と「全国老人クラブ連合会会長表彰及び活動賞」の伝達表彰や、県老連事務局より、令和4年度の全体的な概況報告と県老連の令和4年度事業等について説明を行いました。

後半は、「会長部会」「女性部会」「若手部会」「事務局部会」の4つの部会に分かれて協議を行いました。

協議テーマは「①会員加入のための働きかけについて」、「②



事業計画に会員の声を取り入れる工夫について」、「③役員の後継者について」、「④市町老人クラブ連合会の現状と課題について」の4つから選んでいたが、それぞれの部会で活発な意見が交わされました。

今回は3月に実施する「市町老連代表者連絡会議」でお会いできるのを楽しみにしています！

令和4年

「秋の全国交通安全運動」活動報告

令和4年9月21日(水)～9月30日(金)までの10日間にわたり、令和4年「秋の全国交通安全運動」が実施されました。

県内の老人クラブ会員も地域や参加する人の実状に合わせて活動されました。コロナ禍のなか、工夫をこらした内容になっていました。



下関市



防府市

周南市



長寿参加体験型 交通安全講習会

防府市などと共催。路線バスの利用方法やVRゴーグルを着装して仮想道路横断を体験しました。



令和4年度「社会奉仕の日」活動報告

「社会奉仕の日」(9月20日)は、昭和61年より実施しており、「老人の日・老人週間」(毎年9月15日～21日)内に、全国一斉に老人クラブ会員が地域社会に対して感謝の気持ちと地域の担い手としての活力をお見せする場として今年で37回目となりました。

今年度もコロナ禍の中、17市町老連が「老人クラブ社会奉仕の日」の旗を掲げ、万全の感染防止対策をとりながら実施されました。



昨年度、県老連からお配りした軍手です。色々な場面でご活用いただいています。

田布施町



大波野長寿会



市郷会





洲崎高砂会



生雲清雲会第3クラブ



「社会奉仕の日」活動に
参加された皆さん、
おつかれさまでした。



令和4年度 高齢者の健康づくり・ 生活支援セミナーに参加して

女性委員長 高木チエ子
若手委員 落水 洋成

12月2日(金)、「のはさうー健康寿命、担おうー地域づくりを」をテーマに標記セミナーに参加しました。まず、全国老人クラブ連合会副会長古都賢一氏の基調講演で、「人と人のつながり・連携・協働」が生存値を向上させ、生活課題を解決することを学びました。昼食の後、事例発表では岩手県花巻市の「元気でまっせ体操・サロン」、和歌山県有田市の「健康体操・見守り活動」などが紹介されました。

「まれる」「気のかけ合いが支え合いへ」と流れるように講義されました。健康長寿な人の生活習慣は、「きょういく(今日行くところがある)」と「きょうよう(今日ある)」と「きょうじ(今日ある)」という印象的でした。

講義②では、東京都健康長寿医療センター平野浩彦氏によるオーラル・フレイルのお話で、口に関する些細な衰えも予防できることを学びました。

最後は、運動による健康づくりで、順天堂大学名誉教授武井正子氏が運動の大切さを講義され、みんなでいきいきクラブ体操を体験しました。

同様のテーマでも中央での研修は重く緊張しての講義で、このような機会をいただき感謝申し上げます。



第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会

(ねんりんピックかながわ2022)が開催されました！

11月12日(土)から15日(火)に、第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会が3年ぶりに開催されました。

各競技会場では、真剣な表情で試合に臨む姿や他県の選手の方と交流を深められている和やかな様子などが多く見られました。



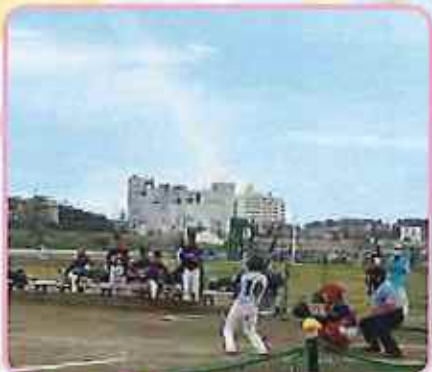
ソフトバレーボール 優勝



剣道 準優勝



工芸部門 銀賞
「風」揺られて響きあう



ソフトボール 勝利を願う虹

※詳しくは、山口県生涯現役推進センターホームページを御覧ください。

geneki.jp



日本画部門 銅賞「華麗な舞」



洋画部門 最高齢者賞
「錦帯橋」

**ねんりんピック山口2023
(山口県健康福祉祭)
「美術展」開催します！**

- ◆開催期間：令和5年6月3日(土)～5日(月)
- ◆会場：防府市地域交流センター（アスピラート）
作品を募集しています。詳細は、生涯現役推進センターホームページ、県老連ホームページを御覧ください。
各部門の金賞作品は、ねんりんピック愛顔のえひめ2023「美術展」へ出品されます。

高齢者を主体とする本美術展を開催することにより、生きがいづくりや健康づくり、社会貢献活動への参加を促進し、高齢者が活躍できる地域社会の実現をめざします。

**第35回全国健康福祉祭えひめ大会
ねんりんピック愛顔のえひめ2023
令和5年10月28日(土)～31日(火)
愛媛県下全市町で開催！**

俳句

事なすに覚悟のもとに虹を追う

長門市

二茶

スイカ割る孫とたわむれ時忘る

長門市

藤井 晴美

自転車のタイヤにセミの羽化をみる

長門市

上野 洋子

熱き土まけ砂袋持ち帰る

長門市

山田よしこ

孫の顔なでてさすうて桃のごと

長門市

岡田 良子

コロナ禍の炎える一球甲子園

長門市

藤井 正

メロンの木夏の天空元氣よく

長門市

中野 一美

芋畑獣と人の共有地

長門市

西川 豊

夏野菜指折り数え世話をする

長門市

河野駒之輔

空梅雨も集中豪雨空が澄み

長門市

滋爺

☆募集します☆

【俳句】【川柳】【絵手紙】【写真】のいずれかを、氏名・お住まいの市町を添えてご応募ください。テーマは自由です。皆様からの作品をお待ちしております。

詳しくは、「(一助)山口県老人クラブ連合会 事務局」まで。なお、応募多数の場合は、こちらで選ばせていただく場合がございます。ご了承ください。



絵手紙



「消しゴムハンコでお便り」

田布施町

赤野 洋二



写真



『茶白山からの展望』
光市 國光 忠孝



『まちの架け橋』
田布施町 西本 篤史



『錦帯橋の鵜飼』
光市 岡田 光憲



『狐の嫁入り』
光市 隅 照夫



『夕日に映えるフィッシングパーク光』
光市 松本 英和

編集後記

おかげさまで令和4年度も無事2回発行できました。ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響で行事やイベントの少ない中、皆様には多数情報提供をいただきました。活動されている写真やお寄せいただいた作品を見ていると、生きがいを持つことの大切さを感じます。

『さらさらシニア山口』を読んで、「老人クラブが楽しそうだから入ってみよう」「仲間とやりがいのあることができるかもしれない。」「そんな風に思っていただけのような誌面づくりをこれからも心掛けたいと思います。」

おんせんの森

〒753-0056
 山口市湯田温泉4-7-17
 TEL：083-920-1126
 FAX：083-920-1177
 ホームページ：<http://onsen-mori.com>

	休憩入浴 (食事付)	入浴
個人	2,500	900
団体	2,300	800

料金(単位：円)



※団体は、16人以上。

紫水園

〒745-1132
 周南市湯野4341
 TEL：0834-83-2345
 FAX：0834-83-2347
 ホームページ：<http://www.shisuien.com>

	休憩入浴 (食事付)	入浴
個人	3,500	550
団体	3,000 (10人以上)	500 (15人以上)

料金(単位：円)



※無料送迎は30分圏内、10人以上、5,000円以上のプランご利用で承ります。

長崎ブルースカイホテル

〒852-8007
 長崎市江の浦町18-1
 TEL：095-861-6411
 FAX：095-861-2531
 ホームページ：
<http://www.skyhotel2.jp/>

宿泊	個人	7,000
	団体	6,600

料金(単位：円)

※団体は、8人以上。
 ※休憩入浴はありません。
 ※長崎駅⇄ホテル間の送迎無料(8人以上)



※「憩いの家」指定料金は、一般の利用料金より、割引になっています。
 ※料金の区別「個人」「団体」とは、老人クラブ会員です。
 ※割引除外のサービスや宿泊プラン等詳細については、各施設にお問い合わせください。
 ※長崎ブルースカイホテルのパンフレットを御希望の方は県老連事務局まで御連絡ください。



いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
 - ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各単位老人クラブで取りまとめて申し込み団体保険です。個人での加入手続きはできません。
 - ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
- (資料請求受付期間) [傷害保険] 4月始期 → 1/4から2月末頃まで、10月始期 → 7/1から8月末頃まで
[賠償責任保険] 随時受付中

傷害保険 自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)

- ①対象：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
②保険始期月および保険期間：年に2回の募集となります。

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
10月	7月15日～9月15日まで	10月1日午後4時から1年間
4月	1月15日～3月15日まで	4月1日午後4時から1年間

- ③補償範囲・掛金タイプ：◆24時間型…日常生活全般のケガを補償(新型コロナを含む※特定感染症危険補償特約付)。自転車事故を含む個人賠償責任補償や地震・噴火・津波補償、熱中症危険補償が付いたタイプもあります。
◆活動型…老人クラブ活動中のケガを補償

賠償責任保険 他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。(自分のケガは対象になりません。)

*1 法律上の賠償責任に伴う対人・対物事故が対象です。

- ①対象 単位老人クラブ(全員加入が条件となります) ②保険期間 毎年10月から1年間(中途加入可) ③掛金 1人年額100円(最低引受保険料3,000円) ④補償 支払限度額1億円

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係
〒100-0022 東京都千代田区西が丘3-3-2 新野が岡ビル5階
TEL 03-3597-8767 FAX 03-3597-8770
ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス hoken@senior-ltd.com
(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL 03-3597-8768
(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL 03-3515-4143

※この広色は、以下の商品についてご紹介したものです。
【老人クラブ傷害保険】
老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(傷害補償)
【老人クラブ団体賠償責任保険】
施設賠償責任保険・生保物賠償責任保険
ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。
2022年3月作成 21-TG11211

会員章は老人クラブのシンボル

全国共通の“仲間のしるし” 会員章

会員章を胸に、活動の輪を広げましょう!

1口 1,000円



会員章実物大
縦 13mm
横 18mm

●末広鶴と日の丸

鶴(高齢者)が両翼を扇(末広)状に広げて、日章(日本)を担っている図。高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えて、地域社会に寄与する高齢者を表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。

●色彩

内側の円(日章)が赤。外側の鶴が白。外周線を金色とする。

ご注文は、山口県老人クラブ連合会まで

電話：083-924-2838 / ファックス：083-928-2387

スポンサーへの御礼

このたびは、「きららシニア山口」の発行にあたりまして広告掲載のご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも末永きご支援をよろしくお願い申し上げます。

老人クラブとは

～地域を基盤とする高齢者の自主的な組織です～

活動の目的

仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、**生活を豊かにする楽しい活動**を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、**地域を豊かにする社会活動**に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とします。



会員

入会を希望する高齢者で、**おおむね60歳以上**の方を対象としています。

組織

日常的に声をかけ合い、**歩いて集まることのできる小地域の範囲**で組織しています。クラブの規模は**おおむね30名から100名**を標準としています。

山口県 老人クラブ情報

「山口県老人クラブ情報」ホームページでは、山口県内で活動されているクラブを地域・活動内容別で**“簡単に検索”**することができます。

パソコン <https://y-seniorclub.com>

携帯電話からは
つながりません。



山口県老人クラブ情報

検索

クラブ入会申し込み書

入会を希望される方は、単位クラブ又は市町老連事務局に、直接お申し込みください。

申込日	年	月	日
ふりがな 氏名			男 女
住所	(〒 -)		
電話番号	() -	生年月日 (歳)	昭和 年 月 日生

※この申込書は、入会手続き以外には使用しません。